

みんなで作る里山プロジェクト自然調査会

No.2  
2023.2



スッポンタケ / 90~150mm 撮影 / 藤井 悟司 ふじいさとし



みんなで作る里山プロジェクト自然調査会

菅生沼・あすなるの里の図鑑制作をめざし、生きものや植物を子どもたちと調べる(調査する)あすなるの里の体験事業です。  
参加してみたい方は、事務局までお問合せください

# 虫



▲9月25日



▲9月25日



▲10月10日



▲12月4日

## 秋

9月25日(日) ●水海道あすなろの里 遊びの森  
 晴れ/微風/28℃/13:00~16:00

【調査員】関 健太郎、大久保 龍馬、上山 裕平、沢田 明衣、杉岡 和樹、永田 啓辰、可児 亮平、藤井 啓、常総みどりの会(可児 修一、上山 耕平、大久保 千春)

観察した種

### チョウ目

モンシロチョウ  
 キタキチョウ  
 アオスジアゲハ  
 クロアゲハ  
 ナガサキアゲハ  
 ツマグロヒョウモン  
 メスグロヒョウモン  
 ミドリヒョウモン  
 ヒメジャノメ  
 ヒカゲチョウ

### カマキリ目

オオカマキリ  
 ハラビロカマキリ  
 コカマキリ  
**バッタ目**  
 オンブバッタ  
 エンマコオロギ  
 コバネイナゴ  
 サトクダマキモドキ  
 セスジツユムシ  
 ツチイナゴ  
**カメムシ目**  
 ツマグロオオヨコバイ

### トンボ目

ノシメトンボ  
 アキアカネ  
 ナツアカネ  
 オオアイトトンボ  
 ホソミイトトンボ  
**コウチュウ目**  
 オジロアシナガゾウムシ  
 マメハンミョウ  
**シリアゲムシ目**  
 ヤマトシリアゲ



アオスジアゲハ



クロアゲハ



ツマグロヒョウモン



メスグロヒョウモン



オオカマキリ



ハラビロカマキリ



▲それぞれの図鑑を開いて、調べ作業中。



コカマキリ



サトクダマキモドキ



ツマグロオオヨコバイ



ノシメトンボ



ホソミイトトンボ



マメハンミョウ



ヤマトシリアゲ

10月10日(月) ●菅生沼上沼天神山公園  
 曇り/微風/14℃/13:30~16:30

【調査員】関 健太郎、大久保 龍馬、上山 裕平、小野 夢叶、小野 志隠、沢田 明衣、杉岡 和樹、永田 啓辰、永田 晴路、可児 亮平、藤井 啓、常総みどりの会(可児 修一、上山 耕平、小野田 裕介)

観察した種

### チョウ目

モンシロチョウ  
 ツマグロヒョウモン  
**カマキリ目**  
 チョウセンカマキリ  
 オオカマキリ  
**バッタ目**  
 コバネイナゴ  
 ショウリョウバッタ

ハネナガイナゴ  
 オンブバッタ  
 エンマコオロギ  
 ホシササキリ  
 ハラヒシバッタ  
 ハネナガヒシバッタ  
 ツチイナゴ  
 イボバッタ  
 クビキリギス

### カメムシ目

ハリカメムシ  
**トンボ目**  
 アジアイトトンボ  
**コウチュウ目**  
 オオズケゴモクムシ  
 シロコブゾウムシ  
 ナナホシテントウ



モンシロチョウ



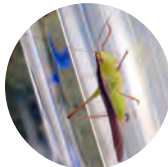
コバネイナゴ



オンブバッタ



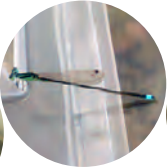
エンマコオロギ



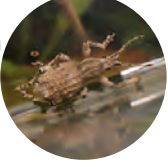
ホシササキリ



ハリカメムシ



アジアイトトンボ



シロコブゾウムシ



上のリストのほか常総みどりの会同定:  
 カントウアオオサムシ  
 セアカヒラタゴミムシ  
 オオゴモクムシ  
 クロゴモクムシ  
 (放置されたピットフォールトラップにて)

## 冬

11月26日(土) ●菅生沼上沼天神山公園  
 天候不良により中止しました

12月4日(日) ●水海道あすなろの里 遊びの森(事務所正門で一部観察)  
 晴れ/微風/14℃/9:30~11:45

【調査員】杉岡 和樹、藤井 啓、沢田 明衣、常総みどりの会(井上 純一)

観察した種

(事務所正門にて)  
**チョウ目**  
 マエアカスカシノメイガ  
 ニトベエダシヤク  
**カマキリ目**  
 ハラビロカマキリの卵囊  
 ハラビロカマキリ

(遊びの森)

**ハチ目**  
 キロスズメバチ  
 コガタスズメバチ  
 クロスズメバチ  
**コウチュウ目**  
 コクワガタ(幼虫)  
 カブトムシ(幼虫)

ホンドクロオオクチキムシ  
 ゴミムシダマシ?(幼虫)  
**シロアリ目**  
 シロアリ(?)  
**ハサミムシ目**  
 ハサミムシ



ハラビロカマキリ



▲冬の虫はね、こんなところにいるんだ



▲見つけた!



▲図鑑を開いて調べ作業中



▲ここでも調べ作業中

### 昆虫の先生から

今回の調査は秋から冬にかけて行われており、見つけられた種類も夏から大きく変わっているのが分かります。秋には樹木の葉が落ちたり、冬には気温が一気に下がったりすることで昆虫もそれに合わせた生活をしています。夏よりも見つけられる数は減ってしまいますが、決していなくなったわけではありません。12月4日の調査記録にあるとおり、意外な場所で発見できるのも冬の昆虫観察の魅力ですね。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館/西元 重雄



# 植物



スズメウリ(実)

## 秋

9月25日(日) ● 水海道あすなろの里 遊びの森  
晴れ/微風/22℃/10:00~12:00

【調査員】福田 藍斗、藤井 悟司、常総みどりの会(可児 修一)

観察した種	オオニシキソウ(実)	カラスウリ(実)
クリ(実)	クサギ(実)	ガズミ(実)
キツネノマゴ	シラヤマギク	アキノタムラソウ
イヌタデ	ウド	イヌゴマ
ハナタデ	ヌスビトハギ	ワタラセツリフネソウ
ワルナスビ	アレチヌスビトハギ	タコノアシ(実)
ツルクサ	オオバコ	ノダケ



クリ(実)



キツネノマゴ



ツルクサ



クサギ(実)



シラヤマギク



ウド



ノダケ



アレチヌスビトハギ



ガズミ(実)



サラシナショウマの仲間  
(同定:常総みどりの会)

10月10日(月) ● 菅生沼下沼~あすなろ橋~菅生沼ふれあい広場  
曇り/無風/16℃/9:30~11:30

【調査員】松橋 明里、藤井 悟司、常総みどりの会(長谷川 としえ)

観察した種	オオイヌタデ(?)	スズメウリ(実)
ママコノシリヌグイ	ヒメタデ(?)	タコノアシ(実)
アレチヌスビトハギ	サデクサ	ヤブマメ
ククイモ	ミゾソバ	セイタカアワダチソウ
アキノノゲシ	アレチウリ(実)	ヒナタイノコツチ(実)
ウシハコベ	イシミカワ(実)	
イヌタデ	カナムグラ(実)	



ウシハコベ



サデクサ



アレチウリ(実)



イシミカワ(実)



カナムグラ(実)



スズメウリ(実)



タコノアシ(実)



ツリガネニンジン  
(同定:常総みどりの会)



イタドリ  
(同定:常総みどりの会)



ヤブマメ



セイタカアワダチソウ

## 冬

11月26日(土) ● 菅生沼下沼~あすなろ橋~菅生沼ふれあい広場  
天候不良により中止しました

12月4日(日) ● 菅生沼下沼~あすなろ橋~菅生沼ふれあい広場  
晴れ/14℃/微風/9:30~11:30

【調査員】松橋 明里、藤井 悟司、常総みどりの会(大久保 千春)

観察した種	ウシハコベ	スズメウリ(実)
キツネノマゴ	シロザ(実)	サナエタデ
オオニシキソウ(実)	ヒメジョオン	オオイヌタデ
コセンダングサ(花・実)	タコノアシ(実)	アレチウリ
イヌホオズキ(?)	アカツメクサ	オオイヌノフグリ
ノイバラ(実)		



オオニシキソウ  
(実)



コセンダングサ  
(種)



ノイバラ  
(実)



ヒメジョオン



▲この小径には、実や種がいっぱい!  
人の服や動物の体にくっついて、タネたちは遠いところに運ばれます(12月4日)



タコノアシ  
(実)



サナエタデ



オオイヌタデ



スッポンタケ  
(同定:常総みどりの会)



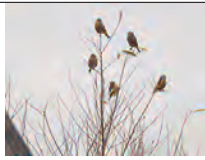
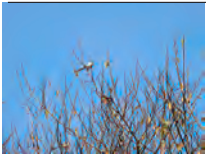
ツマミタケ  
(同定:常総みどりの会)

### 植物の先生から

今回も数多くの種を記録することができました。あすなろの里の中と菅生沼周辺の両方を調査できたことは良かったと思います。秋は花だけでなく実をつける植物も増え、観察する楽しみが多い季節です。植物の実(果実)は、色や形そしてつくりも様々なので、よく観察すると楽しいと思います。今回の記録で、例えばガズミ(実)のような記載がありますが、それぞれの植物に花や実が付いていたらそれを記録しておくといいでしょう。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館/飯田 勝明

# 鳥



菅生沼調整池の朝(9月)

## 秋

9月25日(日) ●菅生沼下沼～あすなる橋～菅生沼ふれあい広場  
 晴れ/22℃/微風/10:00～12:00

【調査員】平田 楽、常総みどりの会 (井上 純一)

観察した種

アオサギ	ヒヨドリ	ツツドリ?
スズメ	ダイサギ	ハシブトガラス
サシバ	キジバト	ウグイス
モズ	ツバメ	ショウドウツバメ
キジ	カワウ	トビ
セグロセキレイ	ハクセキレイ	コサギ
シジュウカラ	ミサゴ	



サシバ



▲台風15号の影響 菅生沼ふれあい広場より

## 冬

11月26日(土) ●菅生沼下沼～あすなる橋～菅生沼ふれあい広場  
 天候不良により中止しました

12月17日(土) ●菅生沼下沼～あすなる橋～菅生沼ふれあい広場  
 曇り/6℃/無風/9:30～11:30

【調査員】平田 楽、あすなるの里 (坂入 真史)

観察した種

ヒヨドリ	シジュウカラ	トビ	ビンズイ
カルガモ	ウグイス	カワウ	キジバト
マガモ	コハクチョウ	カワセミ	オオハクチョウ
カワラヒワ	イカルチドリ	オオジュリン	ハクセキレイ
ハシボソガラス	タヒバリ	アオサギ	セグロセキレイ (ガチョウ)
エナガ	オカヨシガモ	カケス	
モズ	コガモ	ツグミ	
アオジ	スズメ	カシラダカ	



カワラヒワ



コハクチョウ



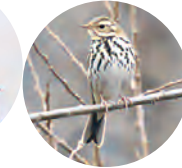
カワセミ



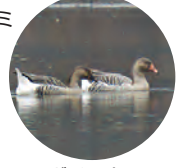
アオサギ



カシラダカ



ビンズイ



ガチョウ

ホオジロが記録できなかった。  
 アオアシシギのようだけれど少し違う不思議な声を聞いた。  
 アメリカコハクチョウとの交雑個体のようなハクチョウがいた。  
 平田 楽さん/埼玉県越谷市小学6年

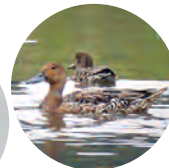
10月10日(月) ●菅生沼下沼～あすなる橋～菅生沼ふれあい広場  
 曇り/16℃/無風/9:30～11:30

【調査員】平田 楽、常総みどりの会 (井上 純一)

観察した種	カルガモ	カワセミ	ツバメ
スズメ	コガモ	カワウ	カワウ
ヒヨドリ	オナガガモ	アカゲラ	エナガ
ウグイス	ダイサギ	ハシブトガラス	コハクチョウ
モズ	アオサギ	セグロセキレイ	ノスリ
ミサゴ	ツツドリ幼鳥?	カワラヒワ	
キジ	イソシギ	ホオジロ	



ミサゴ



オナガガモ



イソシギ



エナガ



コハクチョウ



ノスリ

協力: ミュージアムパーク茨城県自然博物館/植物研究室 飯田 勝明、動物研究室 西元 重雄  
 日本野鳥の会茨城県/内田 初江  
 自然科学普及団体地球レベル/ひとでちゃん(小松 真弓)

写真協力: 大久保 千春、藤井 悟司、可児 修一  
 調査員サポート: 保護者の皆様  
 ボランティア: 常総みどりの会/可児 修一、小野田 裕介、上山 耕平、  
 井上 純一、長谷川 としえ、大久保 千春

### 鳥の先生から

渡るタカ、サシバが9月下旬に何羽か観察されています。南へ向かう渡りのコースとして菅生沼周辺を使っているようです。見上げてみるとほぼ同じ方角からやってきて、ほぼ同じ方角へ飛んでいきます。真っ直ぐ向かわずにフラフラ飛んで、寄り道をしているように見える個体もいます。渡りには風の向きが重要で、8月中旬頃からのいい風が吹き始めます。サシバやツバメを見なくなってしばらくすると、カモやハクチョウ、ツグミなどがやってきます。白くて目立つハクチョウ類は、冬の使者としても知られていますね。 日本野鳥の会茨城県 副会長/内田 初江

### 秋冬の里山プロジェクト自然調査会をふりかえって

全チーム、とにかく図鑑をめくりました。調べ学習に慣れ、以前より図鑑を開く習慣ができたようです。希少な生きものの発見も興味深いですが、身の回りで出会った生きものを丁寧に調べることも大切です。何度でも調べましょう。多人数の虫チームは、高学年の方たちが、低学年の方に発表をゆずったりと気配りがみられました。植物・鳥チームは、少人数のため共同で実施しましたが、鳥の声を聞く際に声を小さくしたり、互いに教え合う姿が印象的でした。 あすなるの里/坂入 真史